

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	46	学校名	仙台市立福室小学校	校長名	千田 正義
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「福室ごみゼロ大作戦」



2 取組の紹介

本校では、協働型学校目標として「進んで人のために役立つとする子供」を掲げています。目標達成に向けた一つの手立てとして「福室ごみゼロ大作戦」を行っています。

今年度は、地域のごみ拾いを6回行いました。下学年が行う際には上学年とペアになり活動しました。この活動を通して、異学年同士の交流を深めたり、ごみに対する意識を高めたりしました。

ごみ拾い後には、まだ資源として使えるものを再利用できるように、拾ってきたごみを「燃えるごみ」「プラスチック」「ペットボトル」「ビン」「カン」に分別しました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

本活動を通して、地域に落ちているごみの量に驚く児童が多くいました。タバコの吸い殻やお菓子の包み紙など、たくさんのごみを集めると「こんなに落ちていたのか」と驚く児童や、「このままだと地域が汚れてしまう！」と考えた児童もありました。活動の後には、「町がきれいになってとても気持ちがよかった」と感想を述べる児童もあり、活動に対して充実感を感じているようでした。また、「この活動を続けてピカピカの町にしたい」「この活動を通して地域から信頼される小学生になりたい」という思いも育てることができました。地域に落ちているごみの現状に気付き、「これからはポイ捨てをしない」「ポイ捨てをしている人がいたら注意をしたい」と、今後の自分の行動について考えを持つことができました。「今日の活動を家族や親戚に話したい」といった声も聞かれ、活動が家庭や地域にも広がっていく様子が見られました。

また、協働型ということで、活動について保護者や地域にも発信し、一緒に活動に取り組んでももらえるようよう声掛けを行いました。保護者からは「ごみゼロ運動でのごみ拾いに充実感を持っており、きれいになることを喜んでいた」、地域の方からは「ごみ拾い活動から、ごみを捨てない気持ちを育むことができたと思います」といった感想をいただきました。

二つの学年で活動したことにより、上学年の児童は年長者としての意識を持ち、下学年の児童に声を掛けたり、ごみを持ったりするなど手伝いを進んで行う様子が見られました。



来年度も同様の活動を続け、児童のごみに対する意識を高め、自分たちでよりよい地域をつくりたいという思いを育てていきたいと思っています。